



2026. 09.06

MESSAGE NOTES

つながり続ける

ヨハネの福音書 15:1-11

ロイド フラハティ

1. イエス様にとどまる

ヨハネの福音書 15 章 4 節

わたしにとどまりなさい。わたしもあなたがたの中にとどまります。枝がぶどうの木にとどまっていなければ、自分では実を結ぶことができないのと同じように、あなたがたもわたしにとどまっていなければ、実を結ぶことはできません。

イエス様はぶどうの木と枝のたとえを用いて、イエス様にとどまるとはということなのかを説明されました。そして、枝は自分だけでは実を結ぶことができないことを教えられました。

イエス様にとどまる → イエス様のいのちを受ける → 実を結ぶ

2. 実を結ぶ

実とは、私たちが意志の力で生み出すものではありません。

イエス様とつながって生きることによって、御霊の実が私たちの人生に実っていくのです。

ヨハネの福音書 15 章 5 節

わたしはぶどうの木、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人にとどまっているなら、その人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないのです。

3. 神様の愛が私たちの人生を形づくる

ヨハネの福音書 15 章 9～10 節

9 父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛しました。わたしの愛にとどまりなさい。10 わたしがわたしの父の戒めを守って、父の愛にとどまっているのと同じように、あなたがたもわたしの戒めを守るなら、わたしの愛にとどまっているのです。

従うことによって、神様の愛を得るものではありません。神様が私たちを愛してくださっていることへの応答として、私たちは神様に従うのです。

私は愛されている → その愛の中にとどまる → 神様に従う

まとめ:

悔い改めは、私たちが神様のもとへ立ち返らせます。

贖いは、私たちが神様との関係へ回復させます。

とどまることとは、神様の中で人生を生き続けることです。

イエス様とともにとどまるなら、私たちの人生には実が結ばれていきます。

源につながる → イエス様のいのちを受ける → 成長する → 実を結ぶ

コロサイ人への手紙 2 章 6～7 節

6 このように、あなたがたは主キリスト・イエスを受け入れたのですから、キリストにあって歩みなさい。7 キリストのうちに根ざし、建てられ、教えられたとおり信仰を堅くし、あふれるばかりに感謝しなさい。